

## アービタックス+ピラフトビ+メクトビの治療をお受けになる方へ

### ★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	2～7日目
アレルギー予防・吐き気止め	 30分	お休み
アービタックス (セツキシマブ) mg	 初回は120分、 2回目以降は60分	お休み
ピラフトビ (エンコラフェニブ) mg	 朝 1個	
メクトビ (ピニメチニブ) mg	 朝 1個 夕 1個	

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

#### 〈血液検査からわかる副作用〉

##### 白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。  
⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。



##### 貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

##### 低マグネシウム血症

血液中のマグネシウム量が減少することがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、マグネシウムの量を確認します。

#### 〈ご自身でわかる副作用〉

##### にきび様皮疹・皮膚乾燥

多くの方に認められる症状です。早ければ、治療開始数日～1週間後に顔や胸、背中にニキビのような皮疹がみられ、1～2週間頃にもっとも強く出るといわれています。次第によくなりますが、治療開始3～5週間後、皮膚の乾燥が強くなってきます。皮疹にはステロイド軟膏、乾燥には保湿剤を使います。

⇒皮膚症状を軽くするためにも、日頃から保湿を心がけてください。

##### 下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくなる場合は、病院への連絡が必要です。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

##### 悪心・嘔吐

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

##### 爪囲炎

治療開始4～8週間後に手足の爪の周りの皮膚に炎症が起こります。ひどくなると、爪の周りの肉が盛り上がり、強い痛みをとまいません。

⇒症状の軽いうちから早めにケアしていきましょう。保湿もあわせておこなうことが重要です。

##### 横紋筋融解症

筋肉の炎症や融解により筋肉痛や脱力感、赤褐色の尿が出るなどの症状が起こる場合があります。

##### 眼障害

ものが見えづらかったり、まぶしく感じたり、虫が飛んでいるように見えたりする場合があります。

⇒症状に気づいたら医師、薬剤師、看護師に知らせて下さい。

##### 手掌・足底発赤知覚不全症候群

手や足にしびれ、ピリピリするような感覚異常や、やけどをした時のような痛みが現れることがあります。手足が赤くはれたり、水ぶくれができたこともあります。症状に気付いた場合には、病院へ連絡して下さい。

##### 倦怠感

#### ★すぐに連絡をいただきたい副作用



- ★「階段を登ったり、少し無理をしただけで息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。(間質性肺炎)
- ★「動くと息が苦しい」、「疲れやすい」、「足がむくむ」、「急に体重が増えた」(心障害)
- ★「倦怠感(だるさ)」、「食欲不振」、「発熱」、「黄疸(目の白い部分や顔や手が黄色くなる)」、「発疹」、「吐き気・嘔吐」、「かゆみ」(肝機能障害)

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。